



リシンク この街から、Rethinkして未来を変えていく。

街の課題を、考える。話し合う。

そこに住む方々、そこで働く方々、そしてそれを支える自治体の方々と一緒に。

それは、よりよい明日のために。

Rethinkフォーラムは、地域にゆかりのある方や、テーマにピッタリなゲストをお招きして、

地域社会の課題解決に向けたディスカッションをする場。

ちょっとだけ視点を変えてみることで、違った景色が見えてくるかもしれません。

この先も、この街が魅力的で活気にあふれるように。一緒に、Rethinkしませんか?

リシンク Rethink

視点を変えて考えること。



Rethink
PROJECT



Rethink フォーラム 郡山 ～新たな100年につながるまちづくり～

「Rethinkフォーラム郡山～新たな100年につながるまちづくり～」(企画・制作／福島民報社、協賛／Rethink PROJECT)が9月、郡山市で開催されました。昨年市制100年を迎えた100年に歩み出した郡山市。未来へ向けたまちづくりはどのような視点で進めれば良いのでしょうか。市長の椎根健雄さん、福島ファイヤーボンズゼネラルマネージャーの渡邊拓馬さん、日本たばこ産業(JT)福島支社長の大野隆史さんが話し合いました。(モデレーターは福島民報社編集局長の角田守良さん)



モーデレーター



椎根 健雄さん
(郡山市長)

郡山市出身。安積高、新潟大農学部卒。2007年～参議院議員秘書、2011年～福島県議会議員(4期13年)、2025年4月～郡山市長。



渡邊 拓馬さん
(福島ファイヤーボンズゼネラルマネージャー)

福島市出身。福島高3年時にウインターカップ準備。2001-11トヨタ自動車アルパルク(現・アルパルク東京)などでプレーし、2015-16アルパルク東京にて現役引退。2018年6月 3x3プレイヤーとして現役復帰。2018年9月 3x3.EXE premiere 優勝。2016-19アルパルク東京 アシスタンツGM・普及マネージャー、2021-25京都ハナリーズ ゼネラルマネージャーなどを経て、2025年より福島ファイヤーボンズゼネラルマネージャー。



大野 隆史さん
(日本たばこ産業福島支社長)

神奈川県出身。2004年4月に日本たばこ産業熊本支社 営業部入社。神奈川支社リレーション推進部 CRM推進担当部長。神奈川支社 営業企画担当部長を経て、2025年10月より福島支社長。

角田 守良
(福島民報社編集局長)

桑折町出身。1991年福島民報社入社。伊達支社、整理部、会津高田支局長、東京支社編集主任、会津若松支社報道部長、編集局次長兼文化部長、編集局総務兼報道部長を経て、2024年編集局長。



リニューアルした宝来屋ボンズアリーナ
(郡山総合体育館)

【角田】郡山市では今年4月に開成山地区体育施設がリニューアルし、宝来屋ボンズアリーナ(郡山総合体育館)がグランドオープンしました。今回の具体的な取り組みと今後のビジョンを教えてください。

【椎根】宝来屋ボンズアリーナは4台の大型LEDビジョンや500～3席に増席したアリーナをはじめ、多様性を重視しただれぞれいし、授乳室、車椅子席、スローブの設置、さらに空調設備の改修により、選手にも観客にも優しい施設となっています。また障がいがある方にも活用いただける施設設備を進め、9月には郡山ヒロセ開成山陸上競技場で北海道・東北バラ陸上競技大会が開催されました。スポーツは子どもたちの夢を育むとともに、市民の健康増進、経済活性化にもつながります。今後はスポーツを通じたまちづくりを広げていきます。

【渡邊】福島ファイヤーボンズは地元のチ

ムとしてさまざまな活動をされていますね。

【大野】東日本大震災の後、運動できない子どもたちのために何かできないかと始めたのがチームの活動の原点です。バスケットボールクリニックをはじめ地域貢献活動をする中で私が最も大切に思っているのは、プロの選手としてバスケットボールに全身全霊をかけ、情熱を注ぎ込んでいる姿を見ていただこうことです。好きなことに打ち込む素晴らしいを感じてくれた子どもたちが、自分たちが何かにトライしてみようというきっかけになればうれしいです。

【角田】地域社会の課題に向き合うための取り組みはどのようなものでいいのでしょうか。

【渡邊】PROJECTにおいても、格差は正の取り組みの一つとしてマイナリティとマジョリティが地域社会の課題と一緒に考

え、さまざまな手段で発信していく「MM

PROJECT」を開催しています。郡山市においては市の保健福祉部と連携し、地域の福祉を、もっと社会に伝えよう」をテーマに事例発表やセミナー開催の準備を進めているところです。

【大野】5月に開成山公園で開催された「ひろえ

は街が好きになる運動」には、椎根市長はじめ福島ファイヤーボンズの皆さんに多く参加いただきました。ファンの方も喜んで一緒にみを抱いながら写真撮影を楽しんでいました。一企業でできること限りはありますが、地域に根ざす企業として今後も継続して取り組んでいきます。

【角田】地元チームとしてどのような連携

ができるかお答えで

ます。

【渡邊】「プロスポーツ選手は影響力も大きい

と思いますので、まず、クラブ全員がルール

を守って見本となるような行動をとるこ

と、そして、率先して環境保全活動に取り組むことが大切だと思います。これまで

試合会場やイベント会場など、選手が先頭に立つてファンの皆さんとともに清掃活動やリサイクル活動を行ってきました。

【椎根】街の中に数多くの公園や緑地があり、特に市の真ん中にある広大な敷地の開成山公園は、貴重な財産だと思っていま

す。市民の憩いの場になつており、子育て

にも良い環境です。

【角田】郡山市は公園の数も多いですね。環

境の緑化についていかがでしょうか。

【椎根】街の中に数多くの公園や緑地があ

り、特に市の真ん中にある広大な敷地の開

成山公園は、貴重な財産だと思っていま

す。世界に広がるような活動

して続けていきます。

【角田】郡山市は公園の数も多いですね。環

境の緑化についていかがでしょうか。

【椎根】街の中に数多くの公園や緑地があ

り、特に市の真ん中にある広大な敷地の開

成山公園は、貴重な財産だと思っていま

す。世界に広がるような活動

して続けていきます。